

**APRIN**  
**2017年度公正研究推進連絡会議**  
**研究支援人材系分科会**

研究者活躍(国際誌公表)のための  
 研究支援部門  
 使命・施策・実行

APRIN  
 座長 中野 義知  
 2018年3月6日

最近の研究不正事例  
 と  
 分野・不正内容 等  
 大学・公的研究機関

文科省予算配分又は措置により行われる研究活動 特定不正行為が認定された事業(一覧)

分野 件数 / 全件数  
 赤 : 医学・薬学・リハビリ 6 / 14 (43%)  
 紫 : 生物・バイオ 2 / 14 (14%)  
 青 : 工学 1 / 14 ( 7%)  
 緑 : 人文・社会科学 5 / 14 (36%)

**H28年度文科省予算研究の特定不正行為認定-1**

文科省  
 研究公正推進室

機関名	研究分野	職務名	特定不正行為	告発受理 告発報告
筑波大学 人文社会学系	政治学	准教授 (当時)	盗用	H27.11.25 H28. 4.14
上智大学 外国語学部	政治学	教授	盗用	H27. 4. 6 H28. 7. 6
滋賀県立 琵琶湖博物館	陸上昆虫学	総括学芸員	盗用	H27. 9.29 H28.10. 5

**H28年度文科省予算研究の特定不正行為認定-2**

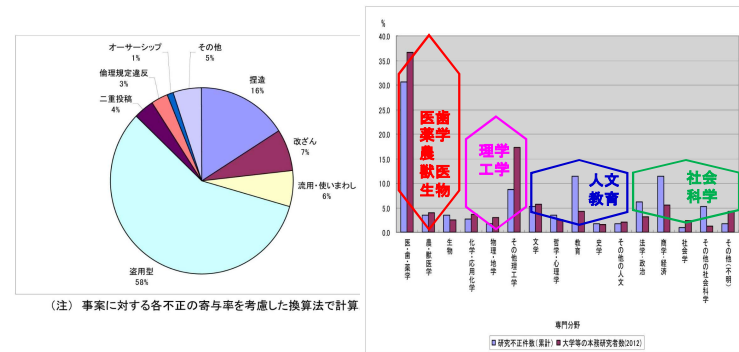
文科省  
 研究公正推進室

機関名	研究分野	職務名	特定不正行為	告発受理 告発報告
大阪薬科大 薬学部	薬理学	教授	改竄	H21.12.14 H29. 1.18
神戸国際大 リハビリテーション 学部	理学療法学	教授 (当時)	盗用	H27. 6.15 H29. 2. 9
昭和女子 大学	言語学	特命教授 (当時)	盗用	H28. 5.13 H29. 2.17
金沢星稜大 経済学部	経営学	准教授 (当時)	盗用	H27.11.19 H29. 3.23
九州大 工学研究院	工学	学術研究員 (元)	改竄	H28. 8. 1 H29. 3.28
琉球大 医学研究科	微生物学 ・腫瘍学	教授、 准教授 助教	捏造 改竄	H22. 4.14 H29. 2.27

**H29年度文科省予算研究の特定不正行為認定** 文科省  
研究公正推進室

機関名	研究分野	職務名	特定不正行為	告発受理 報告受理
東京大学 分子細胞 生物学研	分子細胞 生物学	教授 元助教	捏造 改竄	H28.9.1 H29.6.5
群馬大学 保健学研究科	細菌学 (含真菌学)	教授	改竄	H24.2.8 H29.9.19
東北医科薬科 大学 薬学科	薬学	教授	盗用	H29. 2. 21 H29.10.26
兵庫教育大学 校教育 研究科	教育学	准教授	盗用	H29. 3.16 H29.12. 4
鳥取大学 医学部	薬物治療学	元准教授	捏造 改竄	H29. 2.10 H29.10.31

**研究不正の種類** **分野別研究不正数**



(注) 事案に対する各不正の寄与率を考慮した換算法で計算

(注)「大学の本務研究者数(2012)」の専門分野別構成比については、総務省統計局「平成24年科学技術研究調査」の「第15表 組織、大学等の種類、学問、専門別研究本務者数(大学等)」の「総数」より筆者が作成。

最近のデータ不正事例  
と  
不正内容  
企業

**企業によるデータ不正** **新聞報道**

項目	企業名	不正内容	備考	時期
自動車 排ガス	フォルクスワーゲン	不正ソフト搭載 排ガス中NOx量 試験時<<走行時	VWは疑惑を認める 米制裁金 147億ドル(約1.5兆円)	2015年
	ダイムラー	同上の疑惑	捜査開始との報道有	2017年
	ルノー	同上の疑惑	捜査開始との報道有	2017年
自動車 燃費	三菱自動車	燃費データ改竄	日産自動車と合併	2016年
	スズキ自動車	国が定めるものと違う 方法で測定	「データ改竄は無し」と説明	2016年
製品 品質データ	神戸製鋼所	検査データ改竄	アルミ製品、銅製品	2017年
	三菱マテリアル 3子会社	検査データ改竄	ゴムシール材 銅製電極端子等	2017年
医師主導 臨床研究	ノバルティス	臨床研究データ改竄 (受託大学) 利益相反	薬事法違反告発 2014年 東京地裁無罪判決 意図的改竄不正は認定 2017年	2011~ 2013年

## Ask What You Can Do For Keeping Research Integrity

研究公正を守るために  
研究支援部門に何ができるか  
問うて欲しい

Ask not what your country can do for you  
But ask what you can do for your country  
Inaugural Address by J. F. Kennedy, 1.20, 1961

9

## 研究支援部門

研究不正防止へ  
何を為すべきか

10

## 研究公正 研究支援部門の役割

### 1. 公正な研究と論文公表を支援(不正予防)

- ・支援部門は省庁、Funding Agencyのガイドラインに精通  
研究者のルール相談を通じサポート  
研究者が「知らなかった」ための論文撤回を防止
- ・ラポノート記入、測定データ保存等のルール、支援部門のチェック

### 2. 研究倫理教育

- ・研究者受講率の向上、対象拡大 研究生、学部学生、支援部門
- ・国際有力ジャーナルのルールを学ぶ

### 3. 研究公正活動 (不正対応\*)

- ・利益相反マネージメント (研究者の報告率向上)
- ・不正の通報窓口、機関不正検証委員会事務局\*

### 4. 研究資金

- ・公正適切な研究資金執行と管理 研究者からの相談対応

11

## 「ご出席者の発言・討議を頂きたい事項」

### 1. 研究者が気づかず起こしてしまう違反

- ・事例紹介  
例: 人を使う研究(インフォームドコンセント、個人情報)、利益相反、  
動物実験倫理、データ保管期間、オーサシップ、安全保障貿易管理、  
FFP(捏造改竄盗用)以外の倫理(守秘・非乱用、不正非隠蔽)
- ・「如何に違反を防止するか」の知恵・成功体験

### 2. 研究倫理教育

- ・受講率向上の施策、研究資金提供機関への履修状況報告
- ・留学生、外国人研究者、外国共同研究の相手方、の教育

### 3. 研究公正活動

- ・利益相反マネージメント、公益通報(不正告発)、研究費適正使用

12